



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月27日
上場取引所 東

上場会社名 四国化成工業株式会社
コード番号 4099 URL <http://www.shikoku.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役会長兼 C. E. O. (氏名) 山下 矩仁彦
問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員 企画・管理担当(氏名) 富田 俊彦 (TEL) 0877-22-4111
四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 平成27年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	24,668	4.4	3,746	35.5	3,966	30.8	2,574	24.7
27年3月期第2四半期	23,638	3.3	2,764	△9.8	3,031	△6.7	2,064	△0.4

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 2,470百万円(△8.6%) 27年3月期第2四半期 2,703百万円(2.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	44.05	—
27年3月期第2四半期	35.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	73,910	54,046	72.4
27年3月期	74,262	52,021	69.3

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 53,484百万円 27年3月期 51,487百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	6.00	—	7.50	13.50
28年3月期	—	7.50	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	1.7	6,400	4.8	6,600	1.1	4,400	0.9	75.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	58,948,063株	27年3月期	58,948,063株
28年3月期2Q	513,557株	27年3月期	509,380株
28年3月期2Q	58,436,282株	27年3月期2Q	58,443,589株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府、日銀による経済対策や資源価格の下落を背景に企業収益は過去最高を記録、また雇用、所得環境の改善に伴い個人消費や住宅投資にも持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復を続けております。

一方、世界経済は、米国やユーロ圏で堅調な個人消費に支えられた緩やかな回復が続いていますが、中国の景気減速の影響や米国の利上げ観測による新興国経済の混乱など、不透明感が強まっております。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年9月30日）の当社グループの売上高は246億68百万円（前年同期比4.4%の増収）、営業利益は37億46百万円（前年同期比35.5%の増益）、経常利益は39億66百万円（前年同期比30.8%の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億74百万円（前年同期比24.7%の増益）と、いずれも前年を上回る結果となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①化学品事業

（無機化成品）

ラジアルタイヤ向け原料である不溶性硫黄は、円安の影響により輸出販売の収益性が改善しました。レーヨン・セロハン向けの二硫化炭素は、国内販売、輸出ともに好調に推移しました。浴用剤・合成洗剤向けの無水芒硝は、収益性の改善に注力しました。

（有機化成品）

殺菌消毒剤シアヌル酸誘導品は、国内販売、輸出ともに好調に推移しました。排水処理剤ハイポルカは市場開拓と収益性の改善に注力しました。

（ファイン ケミカル）

プリント配線板向けの水溶性防錆剤であるタフエースは、国内販売は伸び悩みましたが円安の影響を受け輸出が好調に推移しました。エポキシ樹脂硬化剤を主用途とするイミダゾール類は、国内販売が好調に推移しました。

この結果、化学品事業の売上高は157億64百万円（前年同期比8.3%の増収）、セグメント利益は34億36百万円（前年同期比32.9%の増益）と、いずれも前年を上回りました。

②建材事業

（壁材）

湿式壁材市場の停滞により、低調に推移しました。

（エクステリア）

住宅分野が伸び悩みましたが、景観分野は好調に推移しました。また、4月に実施した価格改定により収益性が改善しました。

この結果、建材事業の売上高は85億77百万円（前年同期比1.9%の減収）となりましたが、セグメント利益は11億38百万円（前年同期比18.2%の増益）と前年を上回りました。

[参考情報]

【販売実績】

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	前年同期比(%)
化学品事業			
無機化成品 (百万円)	5,818	7,187	123.5
有機化成品 (百万円)	4,657	4,883	104.9
ファイン ケミカル (百万円)	4,080	3,693	90.5
小計 (百万円)	14,556	15,764	108.3
建材事業			
壁材 (百万円)	1,112	1,020	91.7
エクステリア (百万円)	7,635	7,557	99.0
小計 (百万円)	8,747	8,577	98.1
報告セグメント計 (百万円)	23,304	24,342	104.5
その他 (百万円)	334	326	97.5
合計 (百万円)	23,638	24,668	104.4

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

【海外売上高】

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	
	売上高 (百万円)	連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	売上高 (百万円)	連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)
アジア	4,622	19.6	4,821	19.6
北米	2,890	12.2	2,892	11.7
その他の地域	879	3.7	984	4.0
合計	8,392	35.5	8,698	35.3
連結売上高	23,638		24,668	

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

総資産は、前連結会計年度末比3億51百万円減少し、739億10百万円となりました。主な増加は、現金及び預金13億80百万円、主な減少は、受取手形及び売掛金15億94百万円であります。

負債は、前連結会計年度末比23億76百万円減少し、198億64百万円となりました。主な減少は、支払手形及び買掛金19億68百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末比20億25百万円増加し、540億46百万円となりました。主な増加は、利益剰余金21億36百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の69.3%から72.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、29億94百万円(前年同期比16億38百万円の減少)となりました。主な収入項目は、税金等調整前四半期純利益39億61百万円、売上債権の減少額17億6百万円、減価償却費8億29百万円、一方で主な支出項目は、仕入債務の減少額19億80百万円、法人税等の支払額13億24百万円であります。

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、11億71百万円(前年同期比71百万円の増加)となりました。主として、有形固定資産の取得による支出8億66百万円であります。

財務活動に使用されたキャッシュ・フローは、4億34百万円(前年同期比15百万円の減少)となりました。主として、配当金の支払額4億38百万円であります。

以上の結果、現金及び現金同等物は、173億24百万円(前連結会計年度末比13億80百万円の増加)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想は、当初の計画(平成27年4月30日発表)を変更しておりません。なお、下期の主要な為替レートは、115円/米ドル、130円/ユーロと想定しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、
第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,943	17,324
受取手形及び売掛金	13,667	12,073
電子記録債権	1,034	933
商品及び製品	5,829	5,723
仕掛品	76	56
原材料及び貯蔵品	2,560	2,439
繰延税金資産	621	601
その他	169	203
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	39,901	39,355
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,704	5,002
機械装置及び運搬具(純額)	3,357	3,133
土地	8,790	8,790
建設仮勘定	413	545
その他(純額)	496	485
有形固定資産合計	17,762	17,957
無形固定資産	335	342
投資その他の資産		
投資有価証券	15,346	15,330
繰延税金資産	110	110
その他	820	825
貸倒引当金	△15	△12
投資その他の資産合計	16,263	16,254
固定資産合計	34,360	34,555
資産合計	74,262	73,910

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,015	6,047
短期借入金	1,990	1,930
1年内返済予定の長期借入金	1,198	116
未払法人税等	1,222	1,264
役員賞与引当金	79	38
その他	4,011	3,509
流動負債合計	16,516	12,905
固定負債		
長期借入金	517	1,728
繰延税金負債	719	667
再評価に係る繰延税金負債	1,404	1,404
役員退職慰労引当金	86	89
退職給付に係る負債	2,139	2,186
資産除去債務	348	349
その他	508	532
固定負債合計	5,724	6,958
負債合計	22,240	19,864
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,867	6,867
資本剰余金	5,741	5,741
利益剰余金	33,501	35,637
自己株式	△301	△305
株主資本合計	45,809	47,941
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,707	3,542
繰延ヘッジ損益	△2	12
土地再評価差額金	2,225	2,225
為替換算調整勘定	△35	△37
退職給付に係る調整累計額	△216	△199
その他の包括利益累計額合計	5,678	5,543
非支配株主持分	533	562
純資産合計	52,021	54,046
負債純資産合計	74,262	73,910

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	23,638	24,668
売上原価	15,131	14,824
売上総利益	8,507	9,844
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,580	1,948
広告宣伝費	323	328
給料	999	1,066
役員賞与引当金繰入額	34	36
退職給付費用	117	95
役員退職慰労引当金繰入額	7	9
研究開発費	657	650
その他	2,023	1,962
販売費及び一般管理費合計	5,743	6,097
営業利益	2,764	3,746
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	237	287
為替差益	99	—
雑収入	11	20
営業外収益合計	354	313
営業外費用		
支払利息	11	11
売上割引	64	59
為替差損	—	19
雑損失	12	3
営業外費用合計	87	93
経常利益	3,031	3,966
特別利益		
補助金収入	—	17
受取保険金	167	—
段階取得に係る差益	50	—
特別利益合計	217	17
特別損失		
固定資産除却損	5	22
特別損失合計	5	22
税金等調整前四半期純利益	3,244	3,961
法人税等	1,173	1,361
四半期純利益	2,070	2,599
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	25
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,064	2,574

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	2,070	2,599
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	581	△157
繰延ヘッジ損益	△20	14
為替換算調整勘定	36	△2
退職給付に係る調整額	35	17
その他の包括利益合計	632	△128
四半期包括利益	2,703	2,470
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,695	2,439
非支配株主に係る四半期包括利益	8	31

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,244	3,961
減価償却費	821	829
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△7	3
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	32	61
受取利息及び受取配当金	△243	△293
支払利息	11	11
受取保険金	△167	—
補助金収入	—	△17
段階取得に係る差損益(△は益)	△50	—
有形固定資産除却損	5	22
売上債権の増減額(△は増加)	2,638	1,706
たな卸資産の増減額(△は増加)	485	247
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,609	△1,980
その他	△219	△532
小計	4,940	4,019
利息及び配当金の受取額	243	293
利息の支払額	△11	△10
保険金の受取額	167	—
補助金の受取額	—	17
和解金の受取額	183	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△891	△1,324
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,632	2,994
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△599	△866
有形固定資産の除却による支出	△2	△6
無形固定資産の取得による支出	△19	△69
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△221	—
投資有価証券の取得による支出	△189	△203
その他	△68	△26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,099	△1,171
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50	△60
長期借入れによる収入	200	1,700
長期借入金の返済による支出	△205	△1,570
自己株式の取得による支出	△0	△4
配当金の支払額	△350	△438
非支配株主への配当金の支払額	△3	△3
その他	△40	△58
財務活動によるキャッシュ・フロー	△450	△434
現金及び現金同等物に係る換算差額	100	△7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,183	1,380
現金及び現金同等物の期首残高	10,627	15,943
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,811	17,324

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月 30 日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,556	8,747	23,304	334	23,638	—	23,638
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	130	130	△130	—
計	14,557	8,747	23,305	464	23,769	△130	23,638
セグメント利益	2,585	963	3,548	35	3,584	△820	2,764

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△820百万円には、セグメント間取引消去 0 百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△820百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月 30 日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,764	8,577	24,342	326	24,668	—	24,668
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	119	120	△120	—
計	15,765	8,577	24,343	446	24,789	△120	24,668
セグメント利益	3,436	1,138	4,574	46	4,621	△875	3,746

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△875百万円には、セグメント間取引消去 0 百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△875百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。